

水稻生育情報 (No.4)

平成28年7月27日
県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【生育概況】

水稻作付期間を通して気温は平年より高く、日照時間も平年より多くなりました。
管内のコシヒカリの生育状況は下表のとおりで、草丈は高く、莖数は多く、葉色は地点によってばらつきがあります。

表1 水稻定点調査結果 (7月20日時点)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	莖数 本/m ²	葉色 葉色版	SPAD値	幼穂長 mm
筑西市	5月1日	65	97	509	4	31.6	(出穂開始)
一本松	(5月2日)	(63)	(94)	(482)	(3.8)	(28.0)	(192)
下妻市	5月1日	59	93	504	3.7	31.3	(出穂開始)
加養	(5月2日)	(44)	(89)	(387)	(3.7)	(29.3)	(出穂開始)
桜川市	5月9日	53	94	382	3.4	30.2	92
元岩瀬	(5月13日)	(59)	(84)	(417)	(3.8)	(30.8)	(33)
桜川市	5月4日	52	89	378	3.2	26.1	184
真壁町飯塚	(5月6日)	(53)	(91)	(348)	(3.8)	(32.9)	(138)

()内は平成23~27年(5カ年平均値) ※桜川市真壁町飯塚は過去3カ年の平均値
注)出穂日は、今後の天候により前後する場合があります。

【これからの栽培管理のポイント】

・出穂期以降の根の生育と水管理について

土壌中の酸素が少ないと酸化鉄に覆われず、根腐れを起こしやすくなります。中干し以降は継続的な湛水は避け、根に水分と酸素を交互に供給する間断かん水を実施しましょう。

間断かん水は図のように入水と自然落水を交互に繰り返します。収穫前の落水は「コシヒカリ」の場合、出穂30日後以降に行います。

早期の落水や間断かん水時に田面が白くなるほど乾かすと乳白米などの障害粒や登熟不良を招きます。健全な根を育て、充実した穂を実らせましょう。

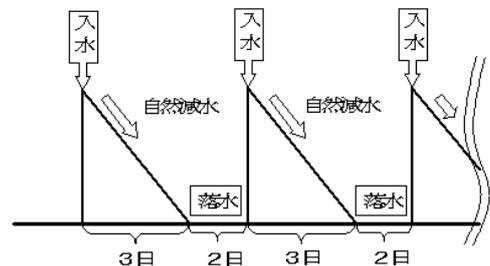


図1 間断かん水の一例

・適期収穫について

早刈りは青米が多く、千粒重が軽くなり、収量が低下します。逆に刈り遅れは胴割粒などの被害粒や茶米などの着色米の発生の要因となります。

出穂期から収穫までの日数は35~40日程度となります。積算気温や上記の日数はあくまでも目安なので、最終的に圃場で直接籾の色(帯緑籾率)を確認して適期収穫に努めて下さい。ちなみに、収穫適期は帯緑籾率が10~5%程度(一穂あたり約6粒前後)の時です。

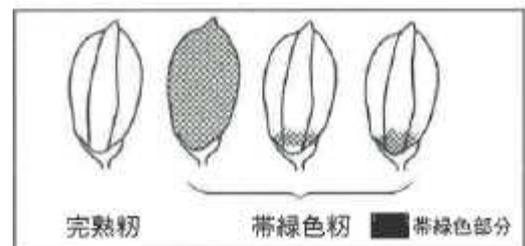


図2 帯緑籾の見分け方